



# 深谷中だより



NO. 215

令和5年 12月 22日

横浜市立深谷中学校

校長 榎田 卓央

## 良い新年をお迎えください

今年も残すところ10日となりました。いろいろなことがありました。新型コロナが3月に5類に引き下げられ、コロナ禍前の日常が少しずつではありましたが、戻ってきたことを感じられる一年でした。その一方で、長かった暑い夏と急な寒さの到来など、季節の変化は少し乱暴だったと感じた日々でした。

しかし、自然界は戸惑いを見せながらも着実に冬の訪れを告げています。あわただしさの中にも、新しい年を迎える風情が、私たちの身の回りに漂っています。

年の瀬を迎えて、生徒のみなさんに「二つの世界」について記します。私たちが生きているこの世界は、大きく分けて考えると「二つの世界」と捉えることができるでしょう。

一つめの世界は「私の世界」です。これは、「生徒のみなさん一人ひとり、誰もが自分の人生は、自分自身が主人公だ」という意味です。自分を輝かせるのは自分自身だということ、つまり「何事も他人任せではいけない」「自立して生きていく」「うまくいかない時に他人のせいにはしない」ことです。普段から自分がしっかりと考え、判断し、自分の責任で行動していくことが大切です。前号でもふれましたが、3年生はいよいよ、来春からの進路に向けて、今までつけてきた力を発揮する時を迎えました。2年生は、職業体験を通して、将来の自分の夢に向けての学習を深めました。1年生は、職業講話で社会の一線で活躍する大人の話をお聴きしました。それぞれが、たくましくそして自信にあふれる表情を見せてくれていることに、校長として安堵(あんど)しています。

二つめの世界とは「共に生きる世界」です。みなさんは一人では生きているわけではありません。私たちはこの深谷中学校で「共に生きて」います。学校という場に限りませんが、夏休みが明けて今日まで、学級や学年、部活動の仲間と学習はもちろん、委員会係活動など個人としての役割を果たし、責任ある一人の生徒として「共に生活」してよく頑張りました。体育祭や合唱コンクール等の楽しい行事に友だちと一緒にのぞむ中で、喜びが2倍3倍にふくらんだことでしょう。

明日から少し長い冬休みになります。みなさんには、仲間がいます。先生がいます。そしてみなさんのことを最も大切に思ってくれるおうちの人がいます。「仲間やおうちの人と共に生きる」ありがたさに感謝しながら、年末年始という特別な休みを過ごしてください。そして、良い新年を迎えてください。

### 【お知らせ】

令和6年度の深谷中学校人権標語が決まりました。

全校生徒の投票で決まった標語は、3年2組北野 悠人さんが作ってくれました。毎年深谷中学校では、誰もが安心して豊かに過ごせる学校を実現するために、全校から人権標語を募集しています。これから1年間、校内掲示、また学校便りにも毎号掲載していきます。

この言葉のような日常が続くように、みんなで睦まじく学校生活を送っていきましょう。



令和6年 深谷中学校 人権標語

## 「またね」といえる日常を

## 第一学年 職業講話

実施日11月28日(火) 報告会12月15日(金)

### 職業講話で、「働くこと」について考える契機となりました。

11月28日(火)に、本校の第一学年のキャリア学習として職業講話を行いました。地域の方々をはじめとする9コース12名の講師の方にお越しいただき、「働くこと」について話を伺いました。1人が聴けるのは2コースだったので、「取材をして、クラスの仲間に発信する」という目的のもと、真剣にメモを取りながら聴いていました。報告会ではそのメモを生かして、クラス内のチームでスライドを作り、発表しました。たくさんの職業について知る良い機会となりました。



## 第二学年 職場体験

実施日11月28日(火) 職場体験学習報告会12月15日(金)

34か所の事業所に分かれ、事前学習から当日の体験、報告会までの活動を行いました。その中で、普段自分たちが利用している施設や店舗では、利用者やお客さんのことを考えた工夫がされていることに気付き、「働くこと」の大変さや喜びなどを実感することができました。また、職場体験から学んだことを報告会で発表しました。どの事業所も興味深い発表内容で、それを真剣に聴く側の態度も素晴らしかったです。この経験を3学年でのキャリア教育(進路選択)に生かしてほしいと思います。多くの保護者の皆様、ご参観ありがとうございました。

